

令和6年度

7月豪雨災害などへの対応

補正予算の
主な質疑

創業支援事業の追加

丸川委員 今までの経過と今後計画される追加分の内容は。

商工観光課長 創業が1件、事業の多角化が1件の交付決定を行つた。今後、創業が1件相談を受けており、2件分を計画している。

観光費寄附金を活用した保全事業

横山委員 交付される団体は。また、どのような取り組みを想定されているか。

商工観光課長 しらたか古典桜の里推進協議会を通じて、保全活動を経費の助成を行つていただきたい。具体的な内容は、それぞれの保存会からの要望をいただき対応していく。



樹齢1200年を守る

※災害用ラップ式トイレ

横山委員 導入台数・設置方法等、具体的な事業内容は。

総務課長 自動式ラップトイレ2台、手動式ラップトイレ7台を整備する。災害時のボランティアセンターや避難所への配置を想定している。

※ 水を使わず、熱圧着によって排せつ物を1回ごと密封するポータブルト



一般会計補正予算の主なもの

創業支援事業 100万円
創業支援事業費補助金の追加計上

観光費 110万円
寄附金を活用した古典桜の保全事業等への対応

災害対策費（備品購入費） 135万円
災害用ラップ式トイレ導入への対応

訪問入浴サービス事業 72万円
対象者の増による追加対応

林業豪雨災害復旧事業費 1046万円
令和6年豪雨災害への対応

財政調整基金費 1億円
将来の財政需要に備えた元金積立への対応

低所得者支援及び定額減税補足給付事業 4481万円
給付金・定額減税一体措置への追加対応

ふるさと森林公園整備事業 2590万円
再整備に向けた基本設計等

児童手当支給事業 3126万円
児童手当拡充への対応

新型コロナワイルスワクチン接種事業 4297万円
新型コロナワイルスワクチン定期接種対応

除雪事業 360万円
消耗品（スノーポール等）の追加計上

など、総額3億2310万円を補正し、一般会計予算総額は101億1240万円となった。

◎財源は、国・県支出金・地方債・寄附金・繰越金などで対応。

※万円未満は端数調整

訪問入浴サービス

衣袋委員 現在の利用者数と今後の見通しは。
健康福祉課長 現在1人の方が利用されてい
る。今回、1人増えるため補正をさせていた
だいた。対象者が増えた場合は、また対応さ
せていただきたい。

令和6年豪雨災害対応

林政課長 林道7路線において、路面洗掘が見られた。洗掘の総距離は約1400mで離数は約1400mである。

佐々木委員 今回災害復旧をされる部分の被災状況は。